



透析患者におけるカルニチン欠乏

皆さんは「カルニチン」をご存知ですか？今回は透析患者におけるカルニチン欠乏症と、薬剤による補充療法の効果の一例について紹介します。

カルニチンって何？

カルニチンは分子量162の水溶性物質で、食品では赤身の肉などに多く含まれています。脂肪酸を代謝の場であるミトコンドリアの中に運ぶのに必要であり、他にも様々な働きがあります。

体内におけるカルニチンの由来は75%が食事からの摂取、25%が腎臓や肝臓での生成であると言われています。また透析によって血漿中のカルニチンの約70～80%が除去されると言われています。

透析患者でのカルニチン欠乏

- ①腎機能低下による生合成の減少
- ②透析による除去
- ③タンパク制限による食事由来のカルニチンの減少



カルニチンが欠乏すると…

- 赤血球膜安定性に関与する酵素の活性が低下し腎性貧血の原因となる。
- 筋けいれんや倦怠感などの筋肉症状を発現させる。

と考えられています。



薬剤による補充療法

最近ではカルニチン欠乏症に対して薬剤（エルカルチン錠）による補充療法も行われています。

透析患者においてはヘモグロビン値の改善やエリスロポエチン製剤の減量が可能になったこと、さらに筋けいれん症状の改善が報告されています。

透析会誌45(10):955-963, 2012
血液透析患者に対するレボカルニチン補充療法

薬剤部 長谷川裕矢



お知らせ 第1回院内NST研修会【NSTに必要な基礎知識】
6月5日(水)17:30～18:30 3階講堂

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方や、新入職員の皆様ぜひご参加下さい！